

令和6年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：健康部健康増進課

1 施設概要

施設名称	健康増進センターすこやかん
指定管理者名	株式会社セントラルスポーツプラザ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	施設の管理運営は概ね良好に行われている。 施設管理者によると、利用者数が3か月連続で1万人を超えており、のぼり旗設置やLINEの効果も出てきているように感じられる。しかし、広告媒体に着目すると、紙媒体の効果は低迷しており、ペーパーレス化やコスト削減を図るためにも、SNSなどの電子媒体への切り替えが必要。一方で、電子媒体が得意でない世代には、引き続きチラシ等を配布していく方針。 また、今後も利用者増加に向け、ジムには新たなマシンの導入、窓広告、6月には初めてとなるボディビル大会優勝者の講座を展開するなど、新たな施策を考えていきたいとのこと。 市としても引き続き積極的に協力していきたい。今後も利用者が安全に安心して利用できるよう、施設運営に努めてほしい。
5月	施設の管理運営は概ね良好に行われている。 指定管理者によると、新規登録者が対前年比で年間を通じて増加傾向にあり、運動に対する関心の高さが伺える。 各種プログラムや教室について、応募数や利用率などを経過観察し、どのような層が利用しているかを調査し、ターゲットを絞り込んでいく予定。また、ふれあいサポート券による利用者も増加傾向にあり、全体の利用者増加に寄与しているとのこと。 市としても引き続き積極的に協力し、今後も利用者が安全に安心して利用できるよう、施設運営に努めていただきたい。
6月	施設の管理運営は概ね良好に行われている。 指定管理者によると、ここ数か月間は利用者数が月1万人を超える月が多いものの、6月は教室終了月であったため、利用者数がそれを下回った。教室終了月の最終週が課題の一つとなっていたため、今月は新たな試みとしてトレーニング講座を実施した。講座は3日で満員御礼となったが、利用者からは「事前にもっと周知してほしい」という声が寄せられたため、次回からは、館内掲示やホームページ、LINE等を活用して、より広範に周知を行う予定。

	また、来月は子ども向けイベントを開催予定なので、新たな取り組みを実施していきたいとのこと。 引き続き、安全で安心して市民が利用しやすい施設運営に努めていただきたい。
7 月	施設の管理運営はおおむね良好に行われており、来館者数も 376 人と目標の 400 人に近づいている。次期教室を充実させることで、更なる来館者数の増加に向けた努力を期待する。また、新規登録者数も大幅に増加しており、SNS 等の周知方法が効果的であることがうかがえる。 15 日（月）には、子ども向けイベントで e-スポーツやポイントラリーを初めて取り入れた結果、来館者数が昨年度を 50 人上回った。このような取り組みが市民の関心を引き、参加者の増加に寄与したのではないと思う。 市としても、市民が健康意識を高めるための企画に対して積極的に提案を行い、協力していく方針。引き続き、安心・安全な施設運営に努めてほしい。
8 月	今月は利用者数が 1.2 万人を超え、1 日の平均利用者も 388 人と目標の 400 人に近づいてきた。台風や大雨の日が数日あったため、利用者が減少したものの、それがなければ 400 人を超えていた可能性もある。 利用料収入は昨年度に比べて約 100 万円増加している。これは、教室受講者が減少している一方で、一般利用者が増加している傾向を示している。特に気温が暑かったことも影響し、週末の親子利用が昨年よりも多かったと感じられる。 教室継続希望者の減少に対し、10 月からスタートする教室の勧誘に力を入れ、利便性や魅力を伝えることで継続利用者の増加を目指していくことが望まれる。 全体として、今月の利用状況と収入の増加は非常に良好であり、引き続き一般利用と教室利用のバランスを取りながら、利用者数の増加を目指し、安心・安全な施設運営に努めてほしいと考える。
9 月	今月の施設利用者数は、前年同月に比べて 1,000 人の増加を見せており、1 日平均の利用者数も約 33 人増となっている。しかしながら、子どもたちの利用が減少している現状を踏まえ、コース終了後に特別期間として無料利用の特典を提供した。この取り組みの結果、利用者数は 14 人に留まった。 指定管理者によると、季節の気候変動も影響していると考えられ、今後この課題を乗り越えるための施策を検討していきたいとのこと。 また、スタッフ向けにコンプライアンス研修や水の安全研修を実施したとのことで、市も安心・安全な施設運営に努め、心地よくご利用いただける環境づくりを目指していきたい。
10 月	施設の管理運営はおおむね良好に進んでいる。一方で、10 月以降の教室受講者数が伸び悩んでおり、特に子どものクラスでは近隣の児童数の低下が顕著。この厳しい状況を改善するため、良質な指導を心掛け、上達が早い教室として認知されるよう尽力されている。

	また、外部イベントに参加したことにより、地域への「すこやかん」の認知拡大が図られた。今後も積極的にイベントに参加し、さらなる周知促進と利用者増加に取り組むことが期待される。それに関して、市も協力していきたいと考える。 引き続き、安心・安全な施設運営に努めてほしい。
11 月	気温の低下や感染症の増加により、利用者数が減少してる。特に子ども向け教室では欠席が増えている。子ども教室には振替制度があるので、この制度を積極的に利用していただき、利用者の回復を図りたい。来月は教室の募集期間なので、施設の詳細が分からない方を対象にしたチラシを作成した。これを新聞折込や LINE 広告で配信し、その効果を測定して次回に生かしたいと思う。また、外部イベントにも参加し、すこやかんを広く周知することができた。その場で行ったインボディや姿勢チェックは好評だったが、以前と比較して年齢層が高く、運動や自身体に興味がある方は少ないように感じた。しかし、身体を動かさなければ効果は得られないので、今後もさまざまな方法で周知していく予定、とのこと。 市としては、利用者を増やし、より多くの市民の健康増進を支援したいと考えている。引き続き、安心安全な施設運営をお願いしたい。
12 月	施設の運営は概ね良好に行われている。入場者、新規登録者とも前年同期比 100% 超えとなった。しかし教室は期の最終月だが、インフルエンザ等の感染症による欠席者が多く、子どもの皆勤賞は当初予想を大きく下回った。大人も暑かった夏季（7～9 月期）よりも大幅増となったものの、同じく感染症の影響で予想よりマイナスになり残念である。 月末に子ども無料デイを実施したところ、この時期、従来殆ど利用の無かったものが 20 人超えの利用があり、また保護者の利用も利用者増につながったと思われる。今回は冬場であったが、今後同様のことを春～夏に実施すれば、利用者数の増加につながると期待できる。 また、今月は次期教室チラシの配布をしたが、新規申込みは振るわず、継続申込みも減少しているため、配布エリアや WEB 広告エリアの検討など対策を講じるとのこと。市も多くの市民の健康増進を支援するため、引き続き協力していきたいと考えている。
1 月	全体的に教室の継続率が低下したことにより、全体の利用者数の伸び率も下がっている。特に子ども向けの教室では大幅に前年比を下回る状況で、土曜日午前の児童クラスの時間帯については、対策が急務である。 4 月からの新年度を迎えるにあたり、チラシの内容を刷新する予定。また、新聞を購読していない若年層に対しては、SNS を活用して案内を行う。さらに、新規利用者の獲得に向け、これまで実施していなかった取り組みを進める計画である。 市としても、新たな試みについて指定管理者と協議し利用者の増加及び市民

	の健康増進を支援したいと考えている。引き続き、安心・安全な施設管理に努めてほしい。
2月	利用者数は昨年度と比較すると1日平均で25人増加しており、ここ数期は大人の一般利用が多く、今月はEZバーをジムに導入するなど、トレーニング機器の充実も増加の要因と思われる。今月は教室継続期間であり、すでに来期からの値上げの告知済みにも関わらず、大人は前期以上の継続がある一方、子どもの継続が不安定であり、児童クラスの年齢幅の拡大対応などを進めていく計画。今月から受付の3月に行う新たな講座への申込も活発で、今後も新たな企画を増やし、利用頻度向上を目指している。 市も指定管理者と協議し、利用者の増加並びに市民の健康増進を支援したいと考えている。引き続き健全な施設管理に努めてほしい。
3月	中学生以下の教室参加者が減少したことにより、来場者数の減少が顕著となりました。4月からは中学生も児童クラスを継続できるようにしたことで、若干の申し込みがありましたが、抜本的な対策には至っていません。 一方、月末に実施した「市民感謝デイ」では、来場者数が321名、新規登録者が15名と、多くの方にご参加いただきました。特にマシンジムの利用者が目立ちました。また、「肩・腰ほぐし」をテーマにした10分間無料ほぐしコーナーは大変好評で、すべての予約が埋まるなど、利用者ニーズに合致した取組となっています。 今後も、利用者の多様なニーズに対応できるよう、さらなる工夫と充実した事業展開を期待します。